

## mamiimoにエールを！

NPO法人AIKURUが農業を始めた頃、「太陽にあたり、土ぼこり・泥まみれになり、力も使う畑仕事を女性がやりたいと思うか？」と懸念の言葉もありました。

しかし収穫までの畑の厳しい現実と喜びを通し多くのことを学び、IMOJOのメンバー達は達成感、充実感を得て自信を持ち、大きく成長しました。

そのように逞しくなった彼女たちは、昨今、畑の師匠や近隣農家の方々に農業者の仲間として受け入れられるようになりました。これからも多くの方たちにご協力を頂きながら美味しいさつま芋づくりに励んでいって行って欲しいと思います。IMOJO 畑のメンバーが「mamiimo」として巣立っていくことにエールを送ります。

NPO法人AIKURU代表理事 宮岡幸江

5年前、IMOJOは畑の開墾から始まりました。「食と職で女性を元気に」を掲げ、子育て世代が土に触れること、無農薬の食物の爽りを体感すること、食育や地産地消、不耕作地を軽減したいという目標もありました。

知識も道具もないまま畑を開墾し、土、苗、天候、虫、保管方法など、毎年様々な要素に試行錯誤を繰り返しながらチャレンジできたのは、地元農家さん達の大きなご協力とご指導があったことでした。

さらにより環境にやさしく、美味しいさつま芋を作るために地域の方々や企業にもご協力いただき、卵の殻や廃菌床、コーヒー殻をご提供いただくなど、地域との繋がりも広がっていきました。そうして育てたさつま芋が、毎年たくさんの親子さんの芋掘り体験に繋がり、AIKURUマルシェなどで焼き芋を楽しみにしてもらえるまでになったことは、子育てをしながらでも働き、地域と繋がり、貢献することができるという私たちの大きな自信になりました。

2026年春、私たちはAIKURUの畑事業IMOJOからmamiimo（マミーモ）として、AIKURUからの後押しをもらって独立します。

AIKURUスタッフはじめ、畑事業に関わってくださったすべての方にこの場をお借りして心から感謝申し上げます。この5年間で得た学びと経験を活かし、これからも「私たちにできること×私たちがしたいこと」がたくさんの笑顔につながるよう頑張っていきます！



mamiimo代表 榎本和佳子

